

I. イベント部会報告書（部会長 池辺 美紀）

1. GreenGift 地球元気プログラム in 宮崎県

主 催 : NPO 法人 大淀川流域ネットワーク
共 催 : NPO 法人 日本 NPO センター
協 力 : 九州環境パートナーシップオフィス、宮崎県
協 賛 : 東京海上日動火災保険株式会社
後 援 : 環境省、国土交通省宮崎河川国道事務所

◆ 第2弾 身近な川を楽しもう 2

実施日時 : 2019 年 4 月 28 日(日) 13 時～16 時
実施場所 : 天満橋下 大淀川市民緑地、大淀川
参加者数 : 体験参加者 46 名（子ども 26 名 大人 20 名）、スタッフ 20 名 計 66 名

【内容】

川は、様々な生物もいて、私達たちにさまざまな恵みを与えてくれています。ふるさとの川「大淀川」で、遊び楽しみながら、川の素晴らしさ・大切さ・楽しさに気付き、環境保全についてみんなで考えてみました。

【プログラム】

①タコノアシの保全活動 ②ソリをつかって芝すべり ③E ボートで水辺の観察



④意見交換会・ふりかえり



平成最後の日曜日に、大淀川で、とても元気に身近な川を楽しみました。

第2弾のEボートは、子ども艇・親子艇・大人艇の3艇として、力を合わせると大人だけのボートにも勝ることを体験して頂きました。

参加者の方に、近くで見ると大淀川には自然がたくさんあることや、親子で自然体験をしながら環境保全について話をする事の大切さに気づいていただくことができました。

参加者アンケートより

- ・大淀川は、近くで見ると意外にきれいになっていると思った。カワニナが多く生息していて驚いた。
- ・「保全活動」という言葉は知っていましたが、どのような活動をするのかを知ることができました。
- ・もっと川に遊びに来て、自分たちの街に流れる大淀川の環境について肌で感じようと思いました。
- ・ソリで、ただ滑っただけなのに、これだけの解放感・快感を味わえるということを、より多くの人に知ってほしい。

2. 水辺安全講習会

実施日：令和元年 7 月 10 日（水）

参加人数：17 名（住民団体等の構成員、行政職員）

会 場：国富町農村環境改善センター、大淀川・浦之名川河川敷

主 催：国土交通省宮崎河川国道事務所

主 管：NPO 法人大淀川流域ネットワーク

国土交通省の河川協力団体として、99 条委託事業の水辺安全講習会を開催しました。地域で水害時の救助活動や子ども達の水辺活動等に携わる皆さんを対象として、水中で安全に活動するための水辺安全講習会。活動を行う際の基礎知識や技術のほか、流水における避難時の歩行などについて、講義と実習を通して学習しました。

【プログラム】

ガイダンス

講義-1 「水中に内在する危険箇所」（座学）

講義-2 「水中活動時の留意事項」（座学）

講義-3 「水中避難時の身の守り方（事故事例より）」（座学）

講義-4 「水中で活動する際の基本的な装備と使い方」（実習）

講義-5 「流水中の避難時の歩行法」（実習）

講義-6 「流水中における救助法」（実習）

講義-7 「まとめ」（座学）

参加者から川活動での準備や心構えの重要性を学んだ。また通常では経験することのない渡河訓練をしたことで強い流れがあるとひざ下でも危険であることや、もしもの場合の対処を学べたとの意見がありました。



3. 大淀川クリーンアップ下流編

実施日：令和元年 7 月 27 日（土）

活動範囲：大淀川河口～平和台大橋 大淀川河川敷兩岸

実施団体：大淀川クリーンアップ実行委員会

共 催：国土交通省宮崎河川国道事務所

参加団体：国土交通省宮崎河川国道事務所、宮崎県県土整備部河川課、高岡土木事務所、宮崎土木事務所、宮崎市環境保全課、宮崎県測量設計業協会、宮崎県浄化槽協会、宮崎県地質調査業協会、宮崎県造園緑地協会宮崎支部、全建緑陽会、緑陽会、大宮地区青少年育成協議会、(株)宮崎放送、(株)宮崎太陽銀行、東京海上日動火災保険(株)、宮崎総合学院、(株)井上エンジニアリング、NPO 法人大淀川流域ネットワーク、ボランティアの方々 計 442 名

収集したゴミ：燃やせるゴミ 38 袋、燃やせないゴミ 15 袋

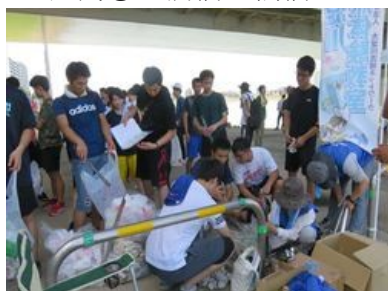
大淀川クリーンアップ 2019 下流編を、大淀川の河口から平和台大橋の 14 区間に分かれ、河川敷と堤防上の計 34km のゴミを拾いました。

当初は、7 月 20 日（1,007 人）で開催を予定していましたが、雨天のため 27 日に延期して実施しましたが 400 名を超える参加者の協力をいただきました。

収集したゴミを分別しましたが、ゴミの多くがペットボトルやビニール袋などのプラスチック製品でした。マイクロチップゴミになる前に、川から海に流れ出るゴミを拾うことで、地球環境の保全に寄与することが出来ました。

今後も、この取り組みを継続して実施して、ふるさとの川「大淀川」を大切にしていきたいと思います。

《区間⑧天満橋～橘橋》



《区間一ツ葉大橋上流～河口 の様子》



4. 水辺・海辺とのふれあい・安全教室

◆ 水辺とのふれあい教室の開催

開催日：令和元年8月5日（月）9時～12時

場所：綾町松原自然公園（綾南川）

参加者数：子ども45名 大人42名 計87名

体験メニュー

「ボード、PFDに乗って川流れ」「メガネで川のぞき・水生生物の観察」「魚のつかみ取り」の3メニューを、3班に分かれて体験した。

①ボードで川流れ

②メガネで川のぞき・水生生物の観察

③魚のつかみ取り



台風接近が心配されましたが、影響は全くなく、綾南川のきれいな水に感動したり、川の流に身を任る「川流れ」に心地よさを感じていただくことができました。

ヤマメつかみでは、生きている魚を素手で掴む初めての体験を楽しみ、その後に、河原で食べるヤマメ焼き魚に命の大切さを学び、綺麗に残さずに食することができたと感想がありました。



メガネで川のぞき・水生生物の観察では、川の中にさまざまな見たことがない水生生物がいることを知って、驚いた様子でした。スタッフとして、宮崎河川国道事務所、宮崎県河川課、宮崎大学の学生さんにご協力いただきました。ありがとうございました。

参加者アンケートより

・川に沢山の生き物がいて、水のきれいさが改めて分かりました。こんな近くに素晴らしい川があって遊ぶことがとてもありがたいと思います。

・家庭ではめったにできない体験ができてとても良かったです。ライフジャケット、ボードによる川下り、魚のつかみ取り、水中生物の観察など。ヤマメの串焼きのとてもおいしかったです。また川辺で過ごす際の安全の指導もしっかりされていて今後にいきてくると思いました。夏休みの素晴らしい思い出となりました。

◆ 水辺の安全教室

開催日時 7月24日（水）、7月25日（木）9時00分～11時30分

場所 三股町しゃくなげの森（沖水川）

参加人数 7月24日（水）志和池子どもクラブ 31名

7月25日（木）安久子どもクラブ 35名

体験メニュー

・川流れ・水難救助訓練

自然豊かな宮崎県立鰐塚自然公園内の住み切った溪流（大淀川支流沖水川上流）で、親子を対象に川遊び安全教室を行った。子ども達には水難事故を防ぐために、履物やライフジャケットなど、川遊びの準備の大切さや、河川での事故事例を伝えた。また澄み切ったところでは浅く見えても急激に深くなるところや流れによっては深みに向かっていくなど川の危険を学んだ。体験では川流れを通して流れの速さや水の冷たさを体感しながら、夏の溪流の素晴らしさを体験した。

保護者から、川で遊んだ経験がないので川の流れや深みなどの内在する危険や、もしもの場合の心構え、ロープにペットボトルを結んで投げる、浮くもの（浮き輪やクーラーボックスなど）で助けるなど、救助における準備品を知り大変参考になったと声を頂いた。

以上のことから、河川や海岸により親しみを持ってもらう・夏に増加する水難事故を防止することを目的とした、身近な川で活動する知識や安全な遊び方を学ぶ場を提供することができた。



6. 99 条委託

(1) 水辺で乾杯 2019 を開催しました

開催日：令和元年 7 月 8 日（月）

場 所：宮崎市役所下流 橋橋下

夕日がきれいに見える宮崎観光ホテル前の河川敷で実施予定でしたが、先日の豪雨の影響で使用できない状況だったため、橋橋下で開催しました。参加者は、ミズベリング宮崎や賑わいワークショップなどの水辺に関心がある方々です。



(2) 水辺のテーブル関連イベント

① オープニングイベント（シャボン玉を飛ばそう）を開催。

実施日：令和元年 7 月 13 日（土）

場 所：宮崎観光ホテル前河川敷

国土交通省の河川協力団体 99 行委託事業で「水辺のテーブル」関連イベントのオープニングイベント「宮崎のいろんなシャボン玉を飛ばそう!!」を開催。あいにくのお天気でしたが、雨の合間で、大きなシャボン玉を飛ばして、水辺のテーブルをアピールしました。



② ヨシの葉で舟を作って流そう「よし舟」を開催。

実施日：令和元年 7 月 28 日（日）

9 時 30 分～11 時 30 分

場 所：天満橋 大淀川

参加者：子ども 4 名 大人 3 名

ヨシの葉で「舟」と「トンボ」を作りました。

準絶滅危惧植物タコノアシの観察もしました。



③ 打ち水大作戦 ペットボトルロケットを作ろうを開催しました。

実施日：令和元年 8 月 10 日（土） 9 時 30 分～11 時 30 分

場 所：天満橋上流 せせらぎ水路

参加者：子ども 13 名 大人 8 名



④ ウナギをつかんでみようを開催

開催日:9月8日(日)

場 所:天満橋下 大淀川

参加者:子ども29名、大人22名

共 催:宮崎内水面漁業協同組合

ボランティアスタッフとして、宮崎国際大学の学生さんが3名参加してくれました。

稚魚を放流した後、ウナギ掴みを体験しました。参加した子どもたちは、初めて掴むウナギの感触に歓声をあげながら、一生懸命に追いかけていました。みんなで、素晴らしい宮崎の自然環境を守っていきましょう。



7. きゅうでんプレイフォレスト 2019in 法華嶽

開催日:2019年11月10日(日)

場 所:国富町法華嶽公園

きゅうでんプレイフォレスト 2019in フォレストに出展しました。卓上飾りとして、水やりをしなくても草木が育つ「ミニ地球」を作りました。



8. その他

★★★ 2020年度の九州川のWSは宮崎県(日向市)で開催します ★★★

宮崎県の次世代メンバー(五ヶ瀬川流域ネットワーク・大淀川流域ネットワーク・都城大淀川サミット)で担当します。実行委員長は五ヶ瀬川流域ネットワークの山田氏。

開催予定日:2020年12月19日(土)~20日(日)

Ⅱ. 調査部会報告(部会長 鈴木 祥広)

1. 第16回身近な水環境全国一斉調査実施

平成16年度から「全国一斉水質調査」に参加して、大淀川流域の水質を調査しています。平成31年度は、5月25日(土)～6月16日(日)に調査を実施しました。調査地点は、昨年度と同様に、大淀川本川・支川の定点29か所です。水質項目は、COD、pH、アンモニウム態窒素、亜硝酸態窒素、硝酸態窒素、リン酸態リンの6項目です。表-1に、COD、硝酸態窒素、およびリン酸態リンの28-31年度の調査結果を示します。有機物汚濁指標のCODの結果をみると、大淀川の要監視流域区間の4地点(岳下橋、志比田橋、乙房橋、王子橋)では、乙房橋以外が0mg/Lとなっており、大幅な傾向が認められました。全国一斉水質調査のとりまとめ結果においても、全国的にCODの低下が観測されています。全国のデータを取りまとめている全国水環境マップ実行委員会に出席したところ、この要因の一つとして、調査時期における全国的な降水量の増加が指摘されました。当委員会では、今回の改善傾向に一喜一憂することなく、水質浄化の活動を広めていくことが確認されました。岩瀬川と戸崎川は、依然としてCODが5mg/Lと高く、改善は認められません。一方で、昨年度に8mg/L以上のCODが観測された大淀川の最下流地点の相生橋は、通常のレベルに回復しており、一安心でした。CODの改善と同様に、硝酸性窒素についても全体的に改善の傾向がありました。キットの最高値の4.6mg-N/Lはすべての地点において検出されていません。

これまでの平成22年から31年までの大淀川本川の調査結果を調査地点で整理しました。図-1に、大淀川本川の上流・中流・下流のCODを示します。流域全体について大きな傾向のみを評価しますと、平成31年は、調査開始以来、CODが最も低くなっています。調査を継続することによって大淀川の水質汚濁・改善の状況が把握できるので、継続的な水質調査はとても重要です。大淀川の恵みに感謝しつつ、今後も一丸となって水質浄化に取り組んでいきましょう。※2020年度第16回全国一斉水質調査は、新型コロナ感染拡大の防止に配慮して2020年5月～6月30日の期間で調査できる地点で実施する予定です。

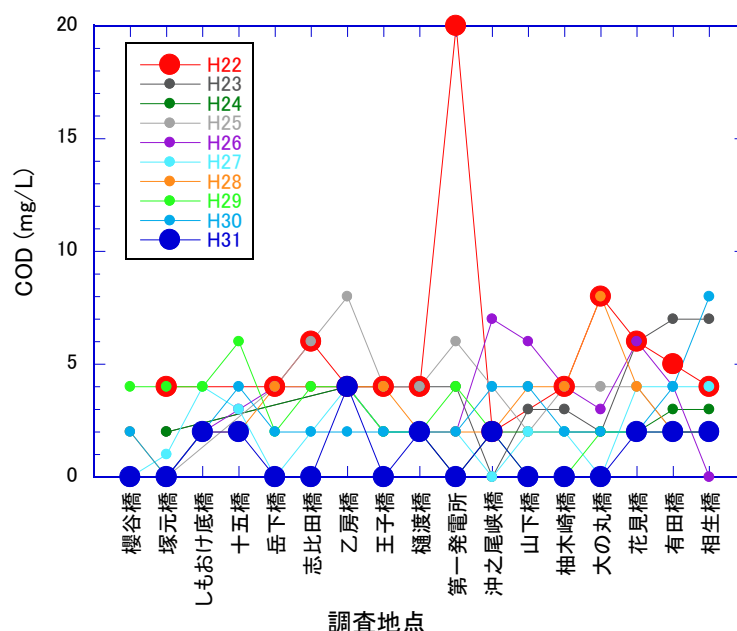


図-1 大淀川本川流域におけるCODの変化(H22-31年度)

表-1 平成31年度 水質調査結果（調査期間：令和元年5月25日～6月16日）											
No.	河川名	地点名	COD低濃度			硝酸 態窒素			リン酸 態リン		
			H29	H30	R1	H29	H30	R1	H29	H30	R1
1	大淀川	櫻谷橋	4	2	0	0.23	1.15	0.23	0.02	0.07	0.03
2		塚元橋	4	0	0	1.15	0.46	0.23	0.07	0.03	0.07
3		しもおけ底橋	4	2	2	1.15	1.15	0.46	0.17	0.07	0.07
4		十五橋	6	4	2	1.15	2.30	1.15	0.17	0.07	0.07
5		岳下橋	2	2	0	2.30	2.30	2.30	0.07	0.07	0.07
6		志比田橋	4	2	0	2.3	1.2	1.2	0.07	0.07	0.03
7		乙房橋	4	2	4	2.3	4.6	2.3	0.17	0.02	0.17
8		王子橋	2	2	0	2.3	2.3	1.2	0.07	0.07	0.03
9		樋渡橋	2	2	2	2.3	2.3	1.2	0.07	0.07	0.07
10		第一発電所	4	2	0	1.2	2.3	2.3	0.07	0.07	0.07
11		沖之尾峡橋	2	4	2	2.3	2.3	0.5	0.02	0.03	0.03
12		山下橋	0	4	0	1.2	0.5	1.2	0.03	0.07	0.07
13		柚木崎橋	0	2	0	2.3	1.2	2.3	0.07	0.07	0.07
14		大の丸橋	2	2	0	1.2	0.5	2.3	0.07	0.07	0.07
15		花見橋	2	2	2	0.5	1.2	2.3	0.07	0.07	0.07
16		有田橋	2	4	2	1.2	4.6	1.2	0.07	0.07	0.03
17		相生橋	2	8以上	2	1.2	2.3	0.5	0.03	0.03	0.03
18	萩原川	木前橋	2	2	0	1.2	1.2	1.2	0.07	0.07	0.03
19	年見川	宮丸橋	2	4	0	1.2	0.5	1.2	0.03	0.07	0.03
20	沖水川	下沖水橋	2	2	0	0.5	0.5	0.5	0.02	0.03	0.03
21	横市川	源野橋	2	2	2	2.3	4.6	2.3	0.07	0.07	0.17
22	庄内川	下鵜島橋	4	2	0	2.3	2.3	1.2	0.03	0.03	0.02
23	高崎川	鶴崎橋	2	4	0	2.3	2.3	1.2	0.07	0.07	0.07
24	岩瀬川	岩瀬ダム	2	2	0	2.3	1.2	1.2	0.02	0.02	0.03
26		猿瀬橋	3	6	5	0.5	0.5	0.2	0.02	0.03	0.03
27		岩瀬橋	3	3	5	0.2	0.2	0.2	0.02	0.03	0.02
28	戸崎川	大王橋	5	6	5	0.2	0.2	0.2	0.17	0.03	0.33
29		切畑橋	4	6	5	0.5	0.5	0.2	0.02	0.33	0.02
25	本庄川	柳瀬橋	4	2	4	1.2	0.5	0.5	0.03	0.02	0.03
NPO法人 大淀川流域ネットワーク											

2. 川の通信簿の点検調査に参加しました

開催日：2019 年 9 月 12 日（木）

国土交通省宮崎河川国道事務所が実施している、川の通信簿の点検調査に参加しました。この調査は、全国の河川空間の親しみやすさや快適性などを現地において市民と協同でアンケート調査を実施するものです。調査では、点検シートを使って、田吉地区、鶴島地区、水辺の楽校、大ノ丸、向高地区、三本松地区の 6 カ所で、自然の豊かさや駐車場が整備されているか等を評価しました。



Ⅲ 教育部会報告（部会長 渡邊俊輔）

1. タコノアシの保全活動を実施しました

開催日：令和元年6月1日（土）

場 所：天満橋下の大淀川

活動内容 大淀川の絶滅危惧植物「タコノアシ」の生息地を広げよう

競争種となる周辺のヨシやオギなどの刈払い、土嚢袋を置いて小川を再生しました。



前回の活動で、移植したタコノアシが育っていました。

2. 宮崎市環境学習パートナーで講座を担当しました

内 容：①大淀川についての授業

開催日：令和元年6月25日（火）

場 所：潮見小学校

宮崎市環境学習パートナー派遣依頼を受け、宮崎市立潮見小学校で、大淀川についての授業を担当しました。



内 容：② 河川浄化水（えひめ AI-2）について

開催日：令和元年7月11日（木）

場 所：月見ヶ丘北区ふれあいセンター

宮崎市環境学習パートナー派遣事業で、月見ヶ丘北区自治会より依頼を受け、河川浄化水（えひめ AI-2）についての講座を担当しました。



3. 大淀川環境保全クラブ

①第1回 開催しました

開催日：令和元年7月21日（日）

場 所：宮崎市役所会議室棟 大会議室、大淀川堤防

内 容：大淀川の生き物保全ワークショップ

大淀川の水辺を観察し、様々な生き物が住む環境についてみんなで考えました。



②第2回 開催しました

開催日：令和元年8月11日（日）

場 所：宮崎市役所会議室棟 大会議室、大淀川学習館 水辺の楽校せせらぎ水路、天満橋下の小川

内 容：五感による水辺環境調査

- ・大淀川の水と生き物について学びました。
- ・五感を使って水辺を調べました。
- ・小魚やタコノアシが住みやすくなる方法について、みんなで考えました。



③第3回 開催しました

開催日：令和元年9月15日（日）

場 所：宮崎市役所会議室棟 大会議室、天満橋下の小川

内 容：絶滅危惧植物タコノアシの生育地の拡大とEボートで水辺観察

- ・タコノアシが増えていく方法を考えました。
- ・Eボートで水辺を観察しました。



④大淀川環境保全クラブ 第4回 開催しました

開催日：令和元年10月13日（日）

場 所：宮崎市役所会議室棟 大会議室、天満橋下の小川

内 容：小魚の生息地の拡大と稚魚の放流

- ・小魚のすみかを広げる方法を考えました。
- ・小川で稚魚を放流しました。



⑤第5回 大淀川環境保全クラブ開催しました

開催日：2019年12月15日（日）

場 所：宮崎市役所会議室棟 大会議室、天満橋下の小川

内 容：保全した生き物の観察と成果のまとめ+芝すべり

- ・小魚やタコノアシのようすを観察しました。
- ・これまでの成果を確認しました



⑥第6回

第28回全国川サミット in 宮崎 発表しました

宮崎市大淀川環境保全クラブでは、7月から毎月1回、大淀川をフィールドにして、生き物のつながりについて学び、みんなでいろいろと知恵を出し合いながら、絶滅危惧植物タコノアシと小魚が育つ環境づくりをしました。

1月25日（土）に開催された「全国川サミット in 宮崎」で、その成果を発表しました。

開催日：令和2年1月25日（土）

会 場：宮崎市民プラザ オルブライトホール



終了後には、大淀川環境保全クラブの修了式を実施しました。

4. 「水草コアマモを植えよう」開催しました

国土交通省では現在、津屋原沼において、津波・高潮対策事業を進めています。

今回、飛江田水路の掘削工事で、新しい水路が完成しました。

将来的に、水路を利用する生物が生きていくために、地域住民とともに環境保全措置としてコアマモを水路に移植する活動を行いました。

参加者

地域住民：子ども16名 大人9名

協力：宮崎内水面漁業協同組合、熊本大学 宮崎河川国道事務所、パシフィックコンサルタンツ、大淀川流域ネットワーク 26名 合計51名





5. みやざき環境大学で講座を担当しました

開催日：令和元年9月14日（土）

場 所：宮崎県立図書館 2階研修室

宮崎県環境情報センターから「みやざき環境大学」への講演を依頼されました。

①講話 水環境について～大淀川との関わりから

②河川浄化液「えひめAI-2」作成



6. 「タコノアシ」の保全活動 実施しました

開催日：令和元年9月28日（土）

内 容：競争種となる周辺のヨシやオギなどの刈払い 小川の再生他

場 所：天満橋下 大淀川河川敷

参加者数 11名 宮崎総合学院ボランティア、宮崎河川国道事務所、大淀川流域ネットワーク

この時期のタコノアシは、華憐な白い花を咲かせています。

太陽光を遮っている競争種のヨシやアシを刈取った後、上流部分に差し芽をしました。



広報部会報告（部会長 松本 浩二）

●広報誌の発刊

今年度も広報誌『第25号』を9千部発刊しました。

●ホームページの活用

今年度もイベントの告知・報告にホームページを積極的に活用しました。

参加者の募集や、イベントの活動結果などの告知を行っています。

「宮崎県自然豊かな水辺の工法研究会」では、募集からレポート採点結果閲覧までを、ホームページで行っています。

来年度は Facebook などの SNS (ソーシャルネットワーク) での告知も力を入れて行きたいと思います。

●その他

宮崎国道河川事務所の事業である「宮崎川づくり交流会」の、住民団体紹介のホームページ更新の制作作業も行いました。

ふるさとの水辺発表会 啓発イベント実施しました（イオンモール宮崎）

◇「オープニングイベント」と「啓発イベント」を開催しました。

場 所 イオン宮崎 1階スペースコート

期 間 令和元年8月17日（土）

◇オープニングイベント

パネル展示に先立ち、オープニングイベントを開催しました。

ふるさとの水辺広報大使に任命された、みやざき犬の「ひいくん」が、五感を使った水辺環境調査の紹介をしてくれました。

また、水辺環境調査で使う資材（クリアファイル）を配布してくれました。



◇啓発イベント

「水辺環境調査の体験」「水を使ったゲーム」「水生生物標本の展示」「森と川の風鈴」「水辺で活動する時の装備着用体験」「カヌー体験」を実施しました。



ふるさとの水辺発表会 パネル展示しました（イオンモール宮崎）

宮崎県内の皆様が、五感を使った水辺環境指標を使用して調査した様子のパネルを展示しました。

◇パネル展示

場 所 イオン宮崎 1階レストランコート

期 間 令和元年8月17日（土）～23日（金）

パネルを展示している学校：国富町立木脇小学校、国富町立本庄小学校、日南市立吾田小学校、日南市立飫肥小学校、串間市立市木小学校、三股町立梶山小学校、東郷学園、延岡市立恒富小学校、鵬翔中学校



ふるさとの水辺発表会 パネル展示しました（宮交シティ）

宮崎県内の皆様が、五感を使った水辺環境指標を使用して調査した様子のパネルを展示しました。

◇パネル展示

場 所 宮交シティ 東口エントランス

期 間 令和元年9月11日（水）～19（木）15時まで

パネルを展示している学校：国富町立木脇小学校、国富町立本庄小学校、日南市立吾田小学校、日南市立飫肥小学校、串間市立市木小学校、三股町立梶山小学校、東郷学園、延岡市立恒富小学校、鵬翔中学校



ふるさとの水辺発表会 パネル展示しました（イオン延岡店）

宮崎県内の皆様が、五感を使った水辺環境指標を使用して調査した様子のパネルを展示しました。

◇パネル展示

場 所 イオン延岡店

期 間 令和元年10月2日（水）～10日（木）14時まで

パネルを展示している学校：延岡市立恒富小学校、日向市立東郷学園



ふるさとの水辺発表会 パネル展示しました（イオン都城店）

宮崎県内の皆様が、五感を使った水辺環境指標を使用して調査した様子のパネルを展示しました。

◇パネル展示

場 所 イオン都城店 2階レストランコート

期 間 令和2年1月10日（金）～24日（金）

パネルを展示している学校：国富町立木脇小学校、国富町立本庄小学校、日南市立吾田小学校、日南市立飫肥小学校、串間市立市木小学校、三股町立梶山小学校、東郷学園、延岡市立恒富小学校、鵬翔中学校



「宮崎の自然豊かな河川環境フェスティバル」を開催しました

公益財団法人宮崎県建設技術推進機構が実施している「宮崎『ひと・まち・みらい』づくりに関する研究・活動助成事業」に採択され、一般住民に良い川づくりを啓発することを目的として、親子を対象とした良い川づくりの啓発イベント「宮崎の自然豊かな河川環境フェスティバル」を開催しました。

場 所：宮交シティ 東口エントランス

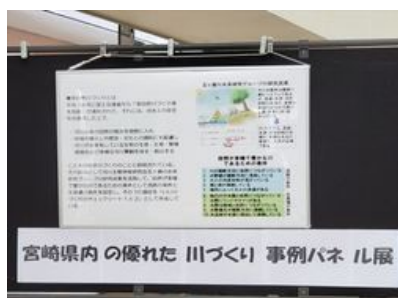
◆パネル展

実施期間：2019年11月22日（金）～24日（日）

展示内容：宮崎県内で実施された良い川づくりの優良事例

素敵な川のカレンダーの絵

（子どもから宮崎県の身近な川の素晴らしさ・大切さ・楽しさをテーマにした
「素敵な川のカレンダーの絵」を募集して選定された12枚の絵）



◆表彰式・啓発イベント

実施日：2019年11月23日（土）

内 容：カレンダーの絵として選定された方々の表彰式
水循環を体験できる「ミニ地球づくり」



九州「川」のワークショップ in 佐賀に参加しました

開催日 2019年11月30日（土）～12月1日（日）

場 所 佐賀県庁県民ホール

九州の川で活動する団体・学校・行政・企業などが一堂に会して活動発表などを行って交流しています。今年
は佐賀県で開催されたことから、みやざき川づくり交流会の5団体がバスで同行して参加しました。1日目は、
池辺理事が活動を発表しました。二日目は、意見交換を行った後、嘉瀬川沿いにある成富兵庫茂安の治水関連
施設の石井樋を見学しました。



V. その他（代表理事 杉尾 哲）

1. 「宮崎県自然豊かな水辺の工法研究会」を運営しました

この研究会は、宮崎県との協働事業として実施していて、本団体が事務局を務めています。河川等に関係する行政や企業の技術者に対する多自然川づくりの人材育成として、水辺の工法研修会、川づくりコンペ、身近な水辺のモニター報告会、現地研修会などを開催している。特に本年度は、各地で激甚な災害が頻発していることを受けて、宮崎県内においても防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策に集中的に取り組んでいることから、現場研修会を年度当初に開催した。

●水辺の工法研修会の開催

本年度の第2回研修会は、8月6日(火)と7日(水)に予定していたところ、台風8号が接近したため、開始以来で初めて延期して開催した。

1) 令和1年度 第1回研修会

実施日 6月17日(月) 会場：J Aアズムホール

6月18日(火) 会場：日向市中央公民館

講師1 宮崎大学工学部 糠澤 桂 氏

題名 環境に配慮した河川整備のための河川健全性評価の事例紹介

講師2 遠賀川河川事務所 野呂健志 氏

題名 遠賀川における生態系ネットワーク形成の推進について

両会場の合計参加者数：行政43名、民間582名

2) 令和1年度 第3回研修会

実施日 11月11日(月) 会場：J Aアズムホール

11月12日(火) 会場：日向市中央公民館

講師1 九州大学工学研究院 佐藤辰郎 氏

題名 地質と川の個性-研究から神代川かわまちづくりへ-

講師2 国土技術政策総合研究所 福島雅紀 氏

題名 維持管理を見据えた河道の設計・施工について

両会場の合計参加者数：行政31名、民間479名

3) 令和1年度 第2回研修会

実施日 12月19日(木) 会場：日向市中央公民館

12月20日(金) 会場：J Aアズムホール

講師1 菊池川河川事務所 調査課 東 高德 氏

題名 菊池川における再堆積抑制の取り組み

講師2 熊本大学先端科学研究部 皆川 朋子 氏

題名 ダム下流河川で生じている課題と改善策について

両会場の合計参加者数：行政42名、民間394名



●水辺の工法現場研修会の開催

現場研修会は、これまで河川担当の行政職員を対象として開催していたが、本年度は防災・減災、

国土強靱化のための 3 か年緊急対策の現場における多自然川づくりの考え方の知見と技術の習得を目的として、行政職員と企業技術者を対象として年度当初に開催した。

実施日 5月10日(金) 会場：宮崎県建設技術センター

講師 九州河川研究所 代表 杉尾 哲 氏

題名 樹木伐採・河床掘削における留意点や適切な方法等について

参加者数：行政 14 名、民間 46 名



●身近な水辺のモニター担当者研修会の開催

各土木事務所で河川モニターと実施する五感による水辺調査と HEI チェックシートによる河川環境調査について、実施方法を解説して、屋外で実習を行った。

実施日 5月28日(火)

会場 西部地区農村環境改善センター・本庄川

参加者数 県河川課と土木事務所 18 名



●うるおいのある川づくりコンペの開催

「私たちがめざすうるおいのある川や水辺はどんな姿なのか」について、河川で活動する企業・行政に呼びかけて開催した。今年、審査の結果、河川課の「宮崎県における自然豊かな川づくりのための人材育成」が金賞、日南土木事務所の「地域連携や協働による多自然川づくりの実践」が銀賞を受賞して、この 2 件が宮崎県の代表として九州川づくりコンペの発表課題に選出された。この他に、延岡河川国道事務所の「五ヶ瀬川かわまちづくりの取り組みについて」が銀賞、西臼杵支庁の「河道埋塞による浸水被害対策」と小林土木事務所の「オオヨドガワゴロモ保全活動について」および西都土木事務所の「三財川での大聖牛工法による多様で複雑な景観への変化」が銅賞を受賞した。

実施日 7月31日(水)

会場 宮崎県企業局県電ホール

発表団体数 14 団体、参加者数 56 名



●身近な水辺のモニター報告会の開催

県内各地の土木事務所で地域住民の方々にお願いしている水辺のモニターの意見を今後の川づくりに反映させるために、調査の成果を報告し、いろいろな情報交換を行った。

実施日 令和 2 年 2 月 13 日(木)

会場 企業局県電ホール

発表団体数 12 団体、参加者数 72 名

以上の宮崎県との協働事業は、多自然川づくりのための人材育成として機能している。この点が 12 月 16 日～17 日に“さいたま新都心合同庁舎”で開催された令和元年度全国多自然川づくり会議において本県河川課の発表が高く評価されて、第 4 分科会の優秀事例として選出され表彰された。

これは、平成 29 年度の神代川の再生と平成 30 年度の耳川水系総合土砂管理に続く 3 年連続の選出である。これに満足することなく、次世代にうるおいのある川を受け渡すために、今後もさらに充実させて実施すべきであると評価します。

2. 河川協力団体として活動しました

本団体は、大淀川流域の河川協力団体として活動している。その活動として、宮崎河川国道事務所と住民団体との連携・協働、防災や環境情報の収集、河川に対する住民の理解の促進を図るために、下記の業務を行った。

●みやざき川づくり交流会の運営補佐

宮崎河川国道事務所が平成 25 年度に立ち上げた「みやざき川づくり交流会」の運営を補佐している。今年度は、これまで年 2 回開催していた交流会を年 1 回に集約して開催され、現地見学として大淀川学習館前の水辺の楽校の植生管理を見学した。

開催日 12 月 17 日（火） 14：00～17：00

場 所 会議：宮崎河川国道事務所 1 階大会議室

参加団体 14 団体

綾町カナディンウッド綾漕会、生き生き河童の会、大塚地域まちづくり推進委員会環境部会、NPO 法人大淀川流域ネットワーク、小丸川ボランティアグループ、自然塾「楽園里山」、(有)しゃくなげの森、高鍋自然愛好会、NPO 法人どんぐり 1000 年の森をつくる会、みずがめフォーラム、NPO 法人都城大淀川サミット、OMZK、山崎川をきれいにする会、安川クリーン会（50 音順）

内 容

1. 現地見学(大淀川学習館前の水辺の楽校) 2. 開会の挨拶
3. 参加団体及び行政機関の紹介 4. 前回のおさらい 5. 各種討議・意見交換等 ①各団体の活動紹介、②国土交通省からのお知らせ、③宮崎県からのお知らせ、④各団体からのお知らせ及び意見交換 6. 閉会

●河川利活用事例収集、簡易水質調査の実施補助

みやざき川づくり交流会に参加している各団体の活動状況の情報収集と、宮崎河川国道事務所が小戸小学校 4 年生を対象に大淀川と本庄川の合流部で実施した水生生物調査において安全管理補助を行った。

水生生物調査実施日 9 月 18 日（水） 場所 柳瀬橋下流

利活用事例収集実施日 6 月～12 月 収集体数 22 団体

●九州河川協力団体講習会(研修)に出席

九州河川協力団体連絡会議が開催する次世代人材育成の講習会に当団体から池辺理事が出席して、



二日間にわたって九州の河川や防災、協力団体の役割、流域連携のあり方などについて学んだ。

開催日 令和2年1月18日(土)～19日(日)

会 場 久留米リサーチ・パーク

●九州河川協力団体連絡会議の宮崎圏域会議に出席

宮崎圏域の4団体と九州河川協力団体連絡会議の役員が、次世代の育成や流域連合体の形成などの取組みについて協議し、国土交通省と意見交換した。なお、九州河川協力団体連絡会議全体会は令和2年2月28日に福岡市において開催される予定であったが、新型コロナウイルスの感染拡大に伴って延期された。

開催日 11月28日(月)

会 場 延岡河川国道事務所

宮崎圏域の参加団体 NPO 法人大淀川流域ネットワーク、NPO 法人都城大淀川サミット、NPO 法人五ヶ瀬川流域ネットワーク、NPO 法人 コノハナロード延岡市民応援隊

3. 全国川サミット in 宮崎で講演しました

全国川サミットは、一級河川の流域内の自治体体同士の交流を通して、川的环境などの理解を深め、その普及啓発を目的に平成4年度から毎年持ち回りで開催されています。今回は宮崎市が担当して、第1日に首長による意見交換、第2日に子ども達の実験学習の成果発表と基調講演が行われた。今回のテーマは「母なる川と ともに」であり、第2日目の子供達の実験学習の成果発表と基調講演を依頼され、本団体の活動を紹介した。

開催日 令和2年1月25日(土)

会 場 宮崎市民プラザ オルブライトホール

講演題目 生態系サービスを理解する



河川協力団体として活動は、九州内の河川協力団体および県内の環境団体との連携を深めるとともに、国土交通省との相互理解を深め、本団体の活動を連携して推進するのに極めて重要である。また、全国川サミット in 宮崎の講演は、環境活動に熱心な自治体に参加していて、本団体の活動を全国に紹介するのに貴重な機会になった。これらは、今後も積極的に継続すべき取り組みであると評価します。